

E049 白糸の滝 (静岡県GEO DATA(28)特集4 :
地学散歩(107))

メタデータ	言語: ja 出版者: 静岡県地学会 公開日: 2024-06-21 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 山本, 玄珠, 北垣, 俊明 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.14945/0002000680

E049 白糸の滝



国土地理院 地理院地図（電子国土Web）

と下部ユニットの境界からの湧水である（写真：黄色破線は下部ユニットの基底）。主瀑滝口の直上流にも白糸溶岩流Ⅰの上部と下部ユニットの境界が連続しており同様に水が湧出している。白糸の滝は南に開いた馬蹄形をなすが、主瀑から西側（右岸側）にはほとんど湧水が見られないのに対し、東側（左岸側）では複数箇所から多くの水が湧出しており、そのほとんどは白糸溶岩流Ⅰの上部と下部ユニットの境界からの湧水である。なお、白糸の滝の滝口上の湧水地であるお鬢水は、白糸溶岩流Ⅰは、薄い溶岩ローブが重なった複合ローブが観察される。

富士宮市上井出にある白糸の滝は、富士宮市域の景勝地として有名である。白糸の滝の造瀑層は、最下位より古富士火山のラハール堆積物、続けてその上位に厚さ1mほどの黄褐色ローム層、最上位に橄欖石を多量に含むパホイホイ溶岩の白糸溶岩流Ⅰが累重する。さらに白糸溶岩流Ⅰには、下部ユニットと上部ユニットがある。ただし、上部と下部のユニットのどちらか一つが欠如している箇所も見られる。白糸の滝では、白糸溶岩流Ⅰと下位の黄褐色ローム層との境界から、白糸溶岩流Ⅰの上部と下部ユニットの境界から水が湧出している。主瀑より東側（左岸側）は、後者の上部

（山本玄珠・北垣俊明）